

# 津波浸水想定区域図 (振興局別図)

令和 5 年 2 月

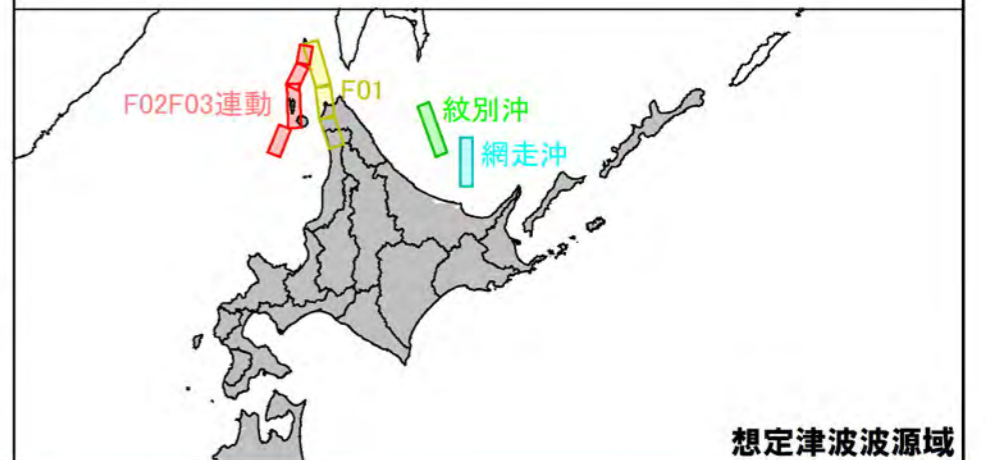
北海道防災会議 地震火山対策部会 地震専門委員会  
津波浸水想定設定ワーキンググループ

**【留意事項】**

- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を設定するものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深等は、局所的な地面の凹凸や構造物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- この津波浸水想定では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないことにご注意ください。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 地震の震源が想定より陸域に近いなど、条件が異なる場合には、ここで表した時間よりも早く津波が来襲する可能性があります。
- 一級河川や一部の都市部以外の航空レーザ測量のデータがない地域では、国土地理院発行の数値地図25000を複製してシミュレーションに用いる地形データを作成しているため、航空レーザ測量のデータより津波高の精度が低い区域があります。
- 津波は自然現象であることから、想定には不確実性を伴います。また、今回想定は、限られた条件設定のもと想定したもので、条件設定（路面凍結や河川流量、構造物の破壊状況）の違いによる不確実性を含むものであるため、今回想定の津波高等はある程度幅を持っており必ずしも今回の想定結果とおりにとは限らず、場合によってはこれを超えることもあり得ることに注意する必要があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域、浸水深や到達時間は、市町村による避難計画策定を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないこと、住民に対しては、自らできる限り迅速かつできる限り高く安全な場所を目指して避難するよう、徹底していく必要があることにご注意ください。
- 今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性があります。

**【シミュレーションの条件】**

- (1) 想定津波
  - ：日本海モデル【F01】
  - ：日本海モデル【F02F03連動】
  - ：オホーツク海モデル【紋別沖の地震】
  - ：オホーツク海モデル【網走沖の地震】
- (2) 構造物条件
  - ：海岸堤防、河川堤防などの施設は地震動により破壊、或は津波が越流すると施設の機能が失われる想定
- (3) 潮位条件
  - ：朔望平均満潮位



市町村名	稚内市	猿払村	浜頓別町	枝幸町
最大津波高 (T.P.m)	2.8 ~ 7.6	3.2 ~ 5.9	3.4 ~ 7.2	3.7 ~ 9.2
影響開始時間 (分)	3 ~ 34	7 ~ 56	38 ~ 46	28 ~ 36
最大津波到達時間 (分)	23 ~ 52	44 ~ 62	44 ~ 53	35 ~ 44

※上表は、市町村ごとに、海岸線における最大津波高および到達時間を整理したものです。  
 ※最大津波高の単位は標高T.P.mで、小数点以下2位を切り上げた数値で表示しています。  
 ※最大津波高は、複数ケースのシミュレーション結果を重ね合わせ、最も高い津波高の最小値と最大値を表示しています。  
 ※稚内市内は、宗谷岬以東のオホーツク海沿岸における値を表示しています。  
 ※この結果は、現在の科学的知見を踏まえ、悪条件下において、津波の浸水予測を行ったものですが、想定より大きく、到達時間が早い津波が襲来する可能性がないというものではありません。

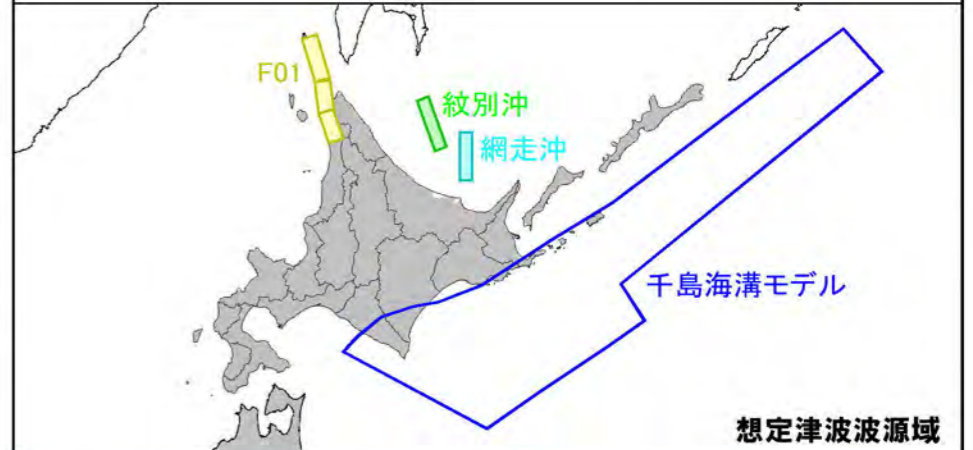


**【留意事項】**

- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を設定するものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深等は、局所的な地面の凹凸や構造物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件の差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- この津波浸水想定では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないことにご注意ください。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 地震の震源が想定より陸域に近いなど、条件が異なる場合には、ここで表した時間よりも早く津波が来襲する可能性があります。
- 一級河川や一部の都市部以外の航空レーザ測量のデータがない地域では、国土地理院発行の数値地図25000を複製してシミュレーションに用いる地形データを作成しているため、航空レーザ測量のデータより津波高の精度が低い区域があります。
- 津波は自然現象であることから、想定には不確実性を伴います。また、今回想定は、限られた条件設定のもと想定したもので、条件設定（路面凍結や河川流量、構造物の破壊状況）の違いによる不確実性を含むものであるため、今回想定の津波高等はある程度幅を持っており必ずしも今回の想定結果とおりにとは限らず、場合によってはこれを超えることもあり得ることに注意する必要があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域、浸水深や到達時間は、市町村による避難計画策定を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を示すものではないこと、住民に対しては、自らできる限り迅速かつできる限り高く安全な場所を目指して避難するよう、徹底していく必要があることにご注意ください。
- 今後、数値の精査や表記の改善等により、修正の可能性があります。

**【シミュレーションの条件】**

- (1) 想定津波 : 日本海モデル【F01】  
 : オホーツク海モデル【紋別沖の地震】  
 : オホーツク海モデル【網走沖の地震】  
 : 千島海溝モデル【十勝・根室沖】
- (2) 構造物条件 : 海岸堤防、河川堤防などの施設は地震動により破壊、或は津波が越流すると施設の機能が失われる想定
- (3) 潮位条件 : 朔望平均満潮位



市町村名	雄武町	興部町	紋別市	湧別町	佐呂間町	北見市	網走市	小清水町	斜里町
最大津波高 (T.P.m)	3.3 ~ 10	4.2 ~ 9.3	2.6 ~ 7.9	2.1 ~ 5.0 (1.0) ~ (2.1)	(0.9) ~ (1.3)	1.9 ~ 4.1 (0.9) ~ (1.9)	2.1 ~ 5.4 (0.9) ~ (2.5)	3.1 ~ 3.8	2.5 ~ 5.7
影響開始時間 (分)	26 ~ 30	35 ~ 41	27 ~ 36	18 ~ 26 (19) ~ (111)	(34) ~ (149)	11 ~ 19 (19) ~ (144)	10 ~ 20 (13) ~ (59)	14 ~ 16	8 ~ 21
最大津波到達時間 (分)	32 ~ 38	41 ~ 48	32 ~ 42	20 ~ 28 (24) ~ (260)	(38) ~ (266)	14 ~ 27 (22) ~ (328)	13 ~ 112 (17) ~ (124)	20 ~ 74	13 ~ 52

※上表は、市町村ごとに、海岸線における最大津波高および到達時間を整理したものです。  
 ※最大津波高の単位は標高T.P.mで、小数点以下2位を切り上げた数値で表示しています。  
 ※最大津波高は、複数ケースのシミュレーション結果を重ね合わせ、最も高い津波高の最小値と最大値を表示しています。  
 ※湧別町、佐呂間町、北見市の上段は海岸線、下段の( )内は、サロマ湖内の湖岸線における値を表示しています。  
 ※網走市の上段は海岸線、下段の( )内は、能取湖内の湖岸線における値を表示しています。  
 ※この結果は、現在の科学的知見を踏まえ、悪条件下において、津波の浸水予測を行ったものですが、想定より大きく、到達時間が早い津波が襲来する可能性がないというものではありません。